



水産大学校代表

鷺尾圭司

新入生の皆さん、水産大学校へようこそ。心より歓迎いたします。また、専攻科、水産学研究科に進まれ、引き続きこの吉見の地で学びを続けられる皆さん、これからもよろしくお願いいたします。

本日ここに、水産庁から保科正樹増殖推進部長、下関市から前田晋太郎市長のご臨席をいただき、また昨年4月から本校の所属する国立研究開発法人水産研究・教育機構の和田時夫理事をはじめ、ご来賓の方々にも加わっていただき、入学式を挙行できますことを皆さんと共に感謝したいと思います。

水産大学校は、70余年の歴史を持ち、今では水産研究・教育機構の一員となって、この下関の地で人材育成に取り組むわけですが、日本全国にある水産研究所や栽培漁業施設なども活用した教育活動を工夫しているところです。

いま皆さんは水産大学校に入り、意欲と期待に満ちあふれていることだと思いますが、その初心を自覚し続けること。そして、自分の実力や成長を客観的に評価して改善を重ねる意識的な取り組みが出来るか否かが問われます。また、自分一人のことに囚われず、広く社会に貢献する意識を育てる事も大人への道です。

中には、意に反して第一志望が叶わず、ここに来てしまったという人もいます。「人間万事塞翁が馬」という言葉が

ありますが、目先の吉凶にとらわれず、視野を広げて与えられた場に適応していく柔軟性を身につけるには、自分自身を自覚的に客観的に見ることで乗り越える知恵も湧いてきます。

不利を有利に転換する力を今の水産業界や社会も求めています。ここにいる教職員と皆さんが一緒になって水産大学校を共に育てていきましょう。

保護者の皆さま、ご来賓の皆さまも、この入学生の本校での成長をしっかりと見守って頂くことをお願いし、私からの祝辞とさせていただきます。